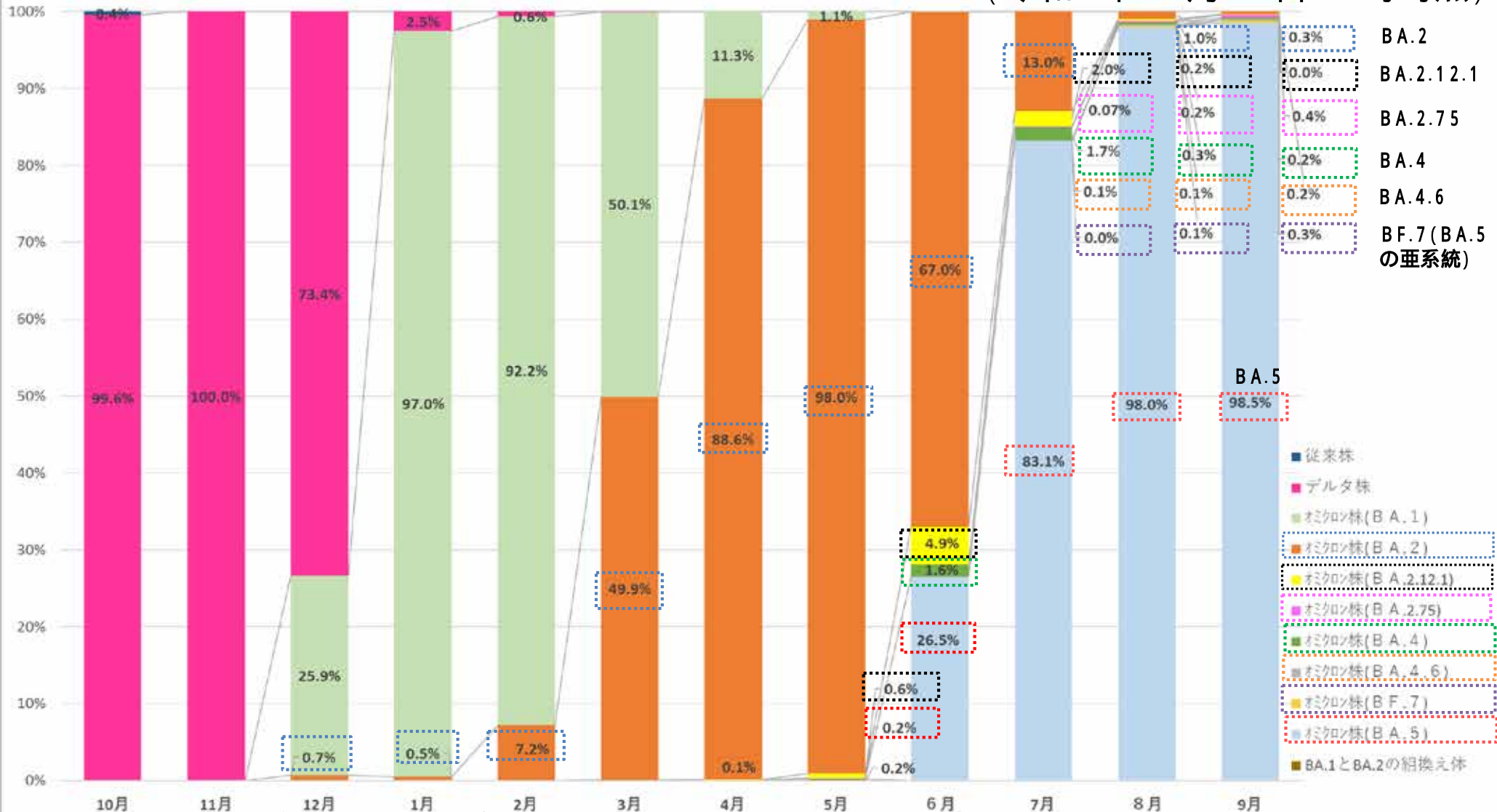


# ゲノム解析結果の推移

資料 2 - 3

(令和4年10月13日12時時点)



都内検体の、過去1年間に報告を受けた、ゲノム解析の実績追加の報告により、更新する可能性あり

BA.2とBA.2.12.1とBA.2.75は別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5とBF.7は別々に計上。

全数届出の見直しに伴い、9/27以降の報告分については、都内医療機関等の検体に対する解析結果の積み上げとする。

# 「BA.4.6系統」と「BF.7系統」に対応した変異株PCR検査の開始

- 米国では、感染の主体はBA.5系統ではあるものの、**BA.4系統の亜系統である「BA.4.6系統」**および**BA.5系統の亜系統である「BF.7系統」**の割合が増加しており、今後の発生動向に注視が必要

## 【アメリカにおける変異株の構成比率】

	9/18～9/24	9/25～10/1	10/2～10/8
BA.4.6系統	11.9%	12.8%	13.6%
BF.7系統	2.3%	3.4%	4.6%

出典: CDC HP, 9/28時点,  
2022/10/5時点, 10/12時点

Pango系統の呼称規則により、「系統を表す小数点が3を超えると、新しいアルファベットが接頭詞として再附番」されます。オミクロン株は多くの子孫系統に分岐しており、B.1.1.529.5は**BA.5**と命名され、BA.5の子孫系統であるB.1.1.529.5.2.1は**BF系統**と再附番され、B.1.1.529.5.2.1.7は**BF.7**と命名されています。

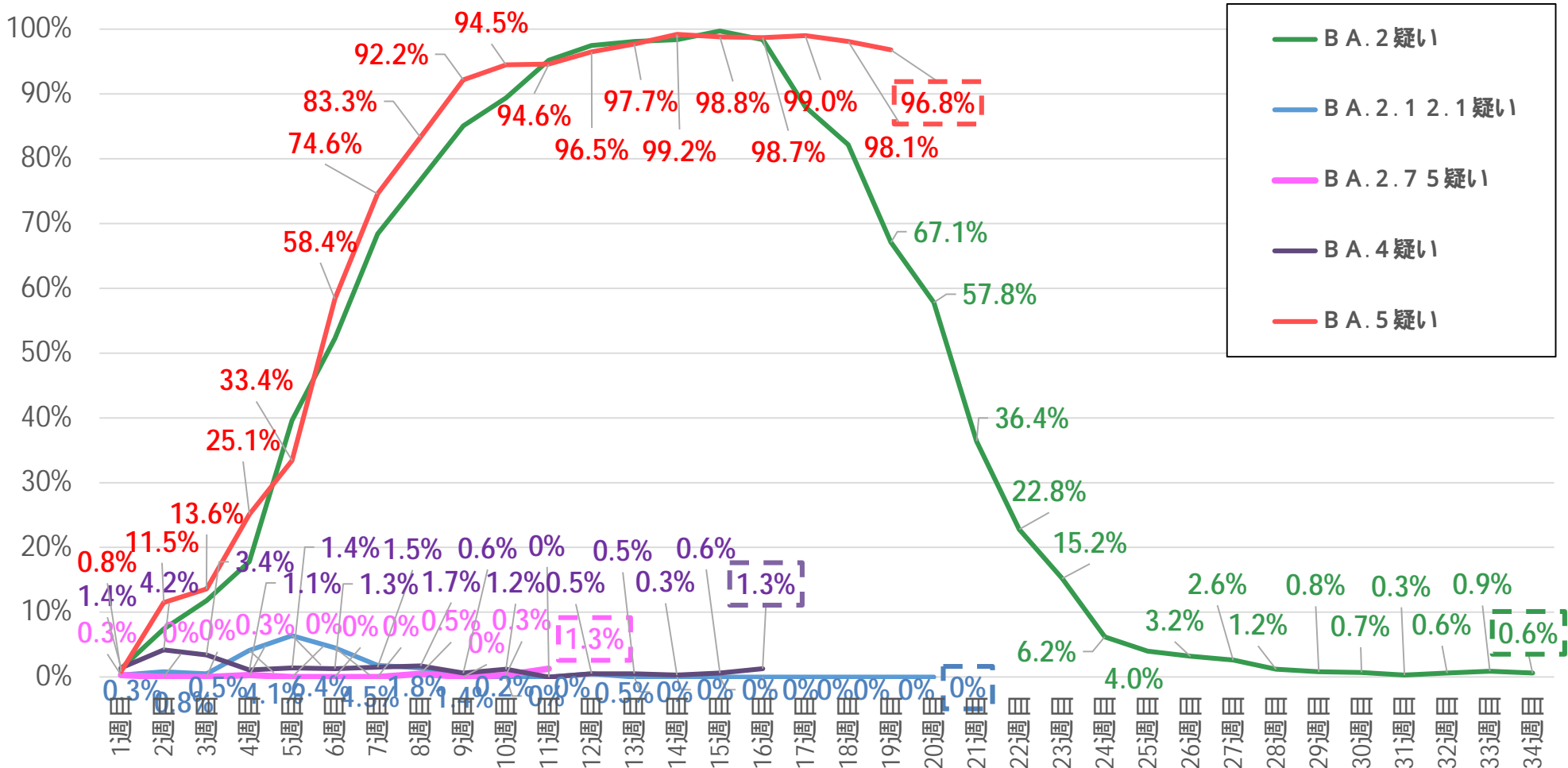
- 都健康安全研究センターにおいて、「**BA.4.6系統**」や「**BF.7系統**」に特徴的な変異である、「**R346T**」に着目した変異株PCR検査を開始
- 都内の「**BA.4.6系統**」や「**BF.7系統**」の発生状況をいち早く把握

## 検査方法

- これまで実施している「BA.4系統」や「BA.5系統」に対応した変異株PCR検査に合わせて、「**R346T**」の変異の有無を確認
- 「BA.4系統」疑いに「**R346T**」の変異がある場合、「**BA.4.6系統**」疑い
- 「BA.5系統」疑いに「**R346T**」の変異がある場合、「**BF.7系統**」疑い

# 健安研における変異株PCR検査によるオミクロン株亜系統の割合（推移）

（令和4年10月13日12時時点）



BA.2系統疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて確認された2022.2.8-2.14の週とする。  
 BA.2.1.2.1系統疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて確認された2022.5.17-5.23の週とする。  
 BA.2.75系統疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて確認された2022.7.19-7.25の週とする。  
 BA.4系統疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて確認された2022.6.14-6.20の週とする。  
 BA.5系統疑いの起算点は、健安研におけるスクリーニング検査で初めて確認された2022.5.24-5.30の週とする。  
 L452Rの陰性率（オミクロン株疑い）、BA.2系統疑い、BA.2.1.2.1系統疑い、BA.4系統疑い、BA.5系統疑いは、判定不能を除いて算出  
 行政検査による検体を対象とする。